

COMPANY PROFILE

会 社 案 内



株式会社 **日エテクノ**

大学の持つ優れた研究開発力から生まれた 金属繊維製品をお届けします

株式会社日工テクノは、金属繊維及びその関連製品の製造を主たる業務としております。

金属繊維はその特徴である高耐熱性、高耐食性により、幅広く産業の上流から下流まで使用されております。当社の金属繊維製造法は日本工業大学で開発された画期的な製造法であり、多材種、小ロット生産が可能な新技術であります。



当社は、お客様のパートナーとして、この金属繊維を不織布、多孔質焼結品、樹脂との複合材等、ニーズと環境社会に適した様々な製品としてご提案してまいります。

株式会社日工テクノは当初、ベキニット株式会社として日本工業大学とベルギーを拠点とする世界的金属ワイヤーメーカーであるベカルト社との産学連携により設立された会社です。大学と世界的企業とがそれぞれの知識と技術をもって連携し、新たな製品を送り出す、日本では珍しい外国企業との産学連携の企業形態です。

この度、社名を株式会社日工テクノと変更し、大学の持つ優れた研究開発力と高い感性に基づくモノづくり技術能力を応用し、さらにきめ細かくお客様のご要望に合わせた製品を提供してまいります。金属繊維を用いた新製品・新技術開発に関しまして、何なりとお問い合わせいただきたくお願い申し上げます。

代表取締役

柳澤 章

日工テクノの経営母体は日本工業大学です。

1907年(明治40年)に創立された「東京工学校」を前身とし、1967年(昭和42年)に誕生しました。同大学は「実工学」の理念のもと、実践的技術者の養成を特色とする大学として、機械工学科、ものづくり環境学科、創造システム工学科、電気電子工学科、情報工学科、建築学科、生活環境デザイン学科の7学科からなる工学部と5専攻の大学院工学研究科修士課程および博士課程が設置され、これまで日本の産業界に数多くの優秀なエンジニアを送り出してきました。埼玉県南埼玉郡宮代町に25.3万m²の広大なキャンパスを有し、充実した研究設備と多彩な教授陣のもとで、4千名を超える学生が学んでいます。



会社概要

- 社名 株式会社 日工テクノ (NIKKO TECHNO, Ltd.)
- 設立 1997年5月 ●資本金 9,000万円
- 役員 柳澤 章(代表取締役) 内山 脩(取締役) 徳川 喜壽(取締役) 佐藤 建夫(監査役)
- 業務案内 金属繊維製品(ステンレス、銅、チタン、アルミニウム、その他各種合金等)の開発、製造

お客様のより良いパートナーとして 多種多様な金属繊維の応用製品を開発しています。

日エテクノの金属繊維製品

日エテクノの金属繊維は、独自の金属繊維製造法である「コイル材切削法」によって製造される細径で均一なバンドルファイバーです。繊維断面は四角形であり、換算直径として

20 μ mから150 μ mまで幅広く繊維化加工が可能です。また、その繊維径は分布幅が狭く、均一径に製造することができるのも特長の一つです。

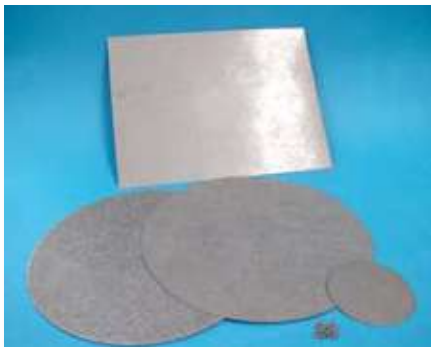


トウ



不織布

[ニードルパンチウェブ]



焼結品



その他応用品

[ステンレス、銅、黄銅、チタン、アルミなど]

この「コイル材切削法」では、各種ステンレスはもとより、チタン、銅、黄銅、アルミニウム等の様々な金属材料に少量から対応可能です。ご希望の材種がございましたら、お問い合わせください。

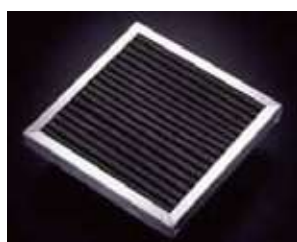
弊社では金属繊維の状態だけではなく、不織布(ニードルパンチ)加工、焼結加工等、お客様のご要望と使用環境に応じた、様々な加工形態でのご提案とご提供をおこなっております。

金属繊維の製品化例

- フィルター
- 触媒担体
- 消音材
- シールド材
- 電極材
- 表面燃焼材
- その他耐熱用途 など



マフラー



エアフィルター



厨房用グリスフィルター



フィルター



NIKKO TECHNO

社章由来

社章(マーク)は漢字の『日』と『工』の字を表し、社名の由来である日本工業大学の文字をかたどったものです。



本 社 〒153-0041 東京都目黒区駒場 1-40-14
事業所 (営業部・工場) 〒345-0826 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 TEL.0480-36-1431 FAX.0480-33-5831

www.nikkotechno.jp

2010.08